

現地説明会・整備検討会開催の目的と内容

急速に高齢化が進むわが国では、高齢者や障害者はもちろん、歩行者の誰もが安心してスムーズに移動できるような、歩行空間の整備が急務となっています。

そこで、平成12年度に施行された「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（通称「交通バリアフリー法」）に基づき、彦根市では交通のバリアフリー化の基本的な考え方や整備方針を示した「彦根市交通バリアフリー基本構想」を策定しています。このなかで重点的に整備する地区として、JR彦根駅周辺地区とJR南彦根駅周辺地区の2地区が選定されました。

JR南彦根駅周辺地区の特定経路に選定された「県道彦根環状線」の歩行空間のバリアフリーを検討するため、地元住民をはじめ障害者や道路利用者、道路管理者の方々とともに現地説明会・整備検討会を行い、具体的かつ効果的な対策をとりまとめていく予定です。



急勾配の歩道

重点整備地区および特定経路図



(出典：彦根市交通バリアフリー基本構想)

整備検討会メンバー

座長：堀井 孝郎（湖東建設管理部副部長）

障害者代表：北川 吉昭（滋賀県脊髄損傷者協会）

長尾 博（県立盲学校教諭）

河合 進一（滋賀県視覚障害者福祉協会理事）

行政側代表：米谷 寿一（城南学区社会福祉協議会会長）

大蔵 雄児（彦根警察署交通課係長）

松波 昌治（彦根市道路河川課主査）

中川 重男（滋賀県脊髄損傷者協会）

音喜多 実（県立盲学校教諭）

丸本 武（滋賀県立視覚障害者センター）

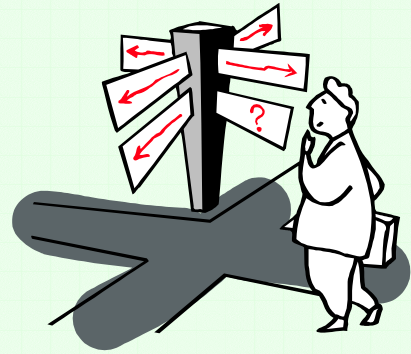
伊藤 喜信（彦根市道路河川課課長補佐）

望月 正人（湖東建設管理部道路計画課課長）

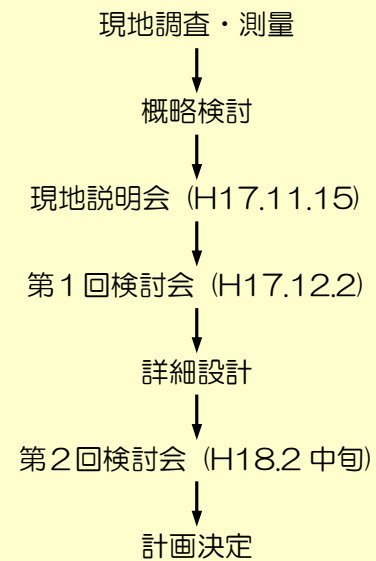


現地説明会と第1回整備検討会で こんな意見ができました

- ・交差点部分で沿道の店舗などにすりつけるために歩道の横断勾配がきつくなっています。これでは車いす等が車道に飛び出してしまう恐れがあるので、平坦にしてほしい。
- ・側溝の蓋がガタガタになっている。
- ・側溝のグレーチングの目が粗いので、車いすや自転車のタイヤがはまってしまう。
- ・車道と歩道の間雨水が溜まるのでなんとかしてほしい。
- ・視覚障害者誘導用ブロックが途切れているところがあるので、連続して敷設してほしい。



今後のスケジュール



現地説明会の様子

これらの意見を参考に、交差点付近の車道部分の路面を高くすることで、歩道との段差を無くすことになりました。



整備検討会の様子

発行：滋賀県 湖東地域振興局 建設管理部 管理調整課

〒522-0071 滋賀県彦根市元町4番1号

TEL：0749-27-2254 FAX：0749-23-3531

Email：ha3402@pref.shiga.lg.jp

～人・自然・地域との絆で
キラリと輝く湖東をめざして～
(湖東地域振興局のスローガン)

